



駒ヶ岳にて (佐々木壯一 的場中学校 平成8年卒)

夕陽

函館市支部会報

発行所

夕陽会 函館市支部

函館市立的場中学校

印刷 久保内印刷所



夕陽会函館市支部支部長 小山内 武弘

今、時に当たって

本年四月に開かれた支部総会において、支部長という大役を仰せつかりました。的場中学校内に事務局を置いて業務を推進して参ります。大学の改組・改編に伴う母校の今後の姿、有り様について、今まさにそれを決定付ける重要局面の真只中にあります。同窓会自体のこれからの在り方とも密接に関わるだけに、このような時期、本部お膝元である当支部の運営に当たることに緊張感を覚える次第です。どうか、会員皆様様の支援助の程をよろしくお願い申し上げます。

さて、先日発行の本部「夕陽会報」(第一八〇号 総会特集号)は、皆様すでにお読みになられたことと思います。「北海道教育大学の再編と函館校」と題する安島会長さんの巻頭言の中に、現下の状況が説明されています。その中で、会長さんは、「母校は正に苦悩を克服して将来像への再編を試みている段階である。夕陽会としても母校と願いを共有し、新生函館校実現のための支援を明確にして参りたい。」と結んでおられます。これは、伝統ある我が夕陽会の矜持として、今後のさらなる母校の発展を切に願うがゆえの真情の共有、行動の連帯を広く会員に対して呼びかけられたものと思います。

そして、それに先立って、六月に開催された本部総会での参加会員の真剣な眼差しは、その思いの体現を雄弁に物語るものであり、母校に寄せる熱い願いを一層奮い立たせてくれるものでもありました。

ところで、その総会後の大懇親会。六百名を超える参加者の熱気は鎮まる風もありませんでした。当日、私も事務局は、開催地の支部として懇親会運営の舞台裏で走り回っていたのですが、その席上、ご来賓として参加くださった会員外の方々と、お礼のご挨拶を申し添えながら歓談していた時の事です。

よく異口同音には言いますが、その方々から、「うらやましいですね。」「それにしては物凄いパワーですね。」「これからも大切にしていかなければならない会ですね。」「との言葉を頂戴したのです。これは決して社交辞令ではなく、身内として割り引いて収める類のものとは思えません。そこには心のこもった誠の響きが感じられたのです。これは、大変ありがたくもあり、また心強いエールでもあり、私自身も印象深い場面として脳裏に浮かんできます。

無垢に弾ける同窓の笑顔。互いを結ぶ心の絆。今回参加できなかった皆さんには、二月、恒例の支部主催の場があります。母校新生の船出を前にしてということになりましょう。「創造し行動する夕陽会」の旗の下、微力ではありますが、時に当たって一層の結束を願う一人です。皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

今日の青少年の学業不振や凶悪傷害事件等、様々な問題となる行動の背景には、感情(情緒)発達のつまずきが共通していることが指摘できます。

勉強の主体は子供心模様の主体も子供です。主体となる子供の心(感情)を動かす大人側の力量が問われます。

感情も育てなければ育たない能力です。

「優しさ・思いやり」等と「される・いじける」等は同じ感情レベルの能力です。どちらも人間関係の中で時間をかけて学んでいくものです。

この営みは既に乳幼児期から始まっています。ともすると大人はマイナス感情

「心の教育」の充実

―元氣とやる気がでる学校―



石黒 一次

私が石崎小学校には、子供たちの豊かな心を育む無意識の教育機能が

健在しています。それは、最近の日本には薄れてしまった「学校・家庭・地域」の自然体の連携です。学校を大切にしてくれる家庭・地域の熱意とパワーに「元氣とやる氣」がみまぎってきます。

(函館市立石崎小学校長)

教師になって思うこと



瀧谷奈津乃

期待に胸膨らませ、緊張しながら着任の挨拶をしてから、もう四ヶ月が過ぎました。ただひたむきに、前進したいと思ひ、日々取り組んでいます。

今は、一人ひとりいろんなことが見える子どもたちも、初めは皆同じに見えて、学年の区別さえつきませんでした。あつという間に過ぎた一学期には、たくさん

の学びがありました。しっかりと消化・吸収し、自分の身にして、子どもたちのために発揮したい、と思います。

を「悪」として、あわてて押さえつけようとします。次第に子供は今の感情が何だったのかを知らされずに心が満たされないまま、よい子に変身します。

ごく普通のよい子が「きれ」てしまうメカニズムがそこにあります。



函館市南北海道教育センターに勤務し、四ヶ月が経ちました。これまでとはまるで別世界の中で、未だに悪戦苦闘の毎日ですが、所長はじめ職員の方々に助けていただきながら、ようやく少しずつ自分のおかれている環境新天地を感じるようになってきたところです。



加賀 重仁

これまで中学校勤務が長く、しかもそのほとんどを、生徒指導担当として過ごしました。その中で一番学んだことは、チームワークの大切さです。大変なこともありました。そして、大変だったとき、「仲間」がいて、何とかやってこられました。そして、今の自分があるのは

いろいろな場面で、子どもたちの素直さを感じます。特に授業中の反応はこちらへ伝わりやすく、いつも反省させられます。それだけに、たまに「あ、そうかわかった!」と、にっこり笑顔をもらうと、嬉しくて、教職に就けてよかった、と感じるとともに、未熟な私も教師なのだ、と責任の重さを実感させられます。日々、努力していきたいです。

気軽に研修等にご参加ください。教育は夢のある仕事だとつくづく感じます。函館の子供たちが夢をもち、豊かな心をはぐくむことができるよう、努力する所存です。

(函館市南北海道教育センター指導主事)

たくさんの人に支えられて



小又 祐子

この春から函館市立青柳小学校に勤務しております。

「いよいよスタートだ。」という気持ちで着任してからあつという間に四カ月間が過ぎました。教育実習も臨探も中学校で経験したため小学校のことはといえば、子どもたちの体の大きさをイメージしきれないままのスタートでした。

三年生二十五名の担任となり、最初は子どもたちの心がなかなかつかめず、何をやってもうまくいきませんでした。

かし、いつの間にか子どもたちとの一体感を味わう喜びや、一つ一つできるようになっていく子どもたちの姿を見るのが本当に楽しみになっていました。

また、失敗を繰り返しながらも無事一学期を終えることができたのは、諸先輩方や保護者の方の支えがあったからだと感じています。学級担任は一人であつても、いいクラスを作るためにはたくさん

の目、たくさんの方々の声、たくさんの方々の感謝の気持ちを忘れずに、たくさんの方々と協力しながら手問ひまかけて子どもたちを育てていきたいと思ひます。

(函館市立青柳小学校)

この春から、念願かない教員生活をスタートすることができました。函館市立亀田小学校に勤務し、はや四ヶ月がとうとしています。毎日が慌ただしく、なかなか慣れない日々を送ってきましたが、諸先生方に教えていただきながら、だんだんと生活にも慣れてきました。

夢かなくて

四月に出会った子どもたちは、とてもしっかりしているし、明るい子が多く楽しくなりそうだと、という印象でした。しかし、最初は初めの緊張感をも薄れ、それとともに地でもできました。少しずつ、子どもたちひとりひとりの性格や学力もわかってきて、そのたびに学級経営や授業の課題が山積み状態です。現在は、「話の聞き方」を全員に



『私の学び舎』



菊地 博之

この春から函館市立戸倉中学校に勤務し、二年生の数学を担当しております。函館に生まれ、函館で育ち、函館で教員として勤務することができ、とても嬉しく感じております。

この四ヶ月は慣れない学校の仕事や部活動指導に追われ、全く新しい環境の中で驚きや戸惑い、新たな発見の毎日、慌しく一学期が終わってしまいました。私はかつての恩師から与えられたものは、「勇気と希望」でした。私の個性を見守り伸ばさせてくれた恩師のように、

身に付けるという目標を持っています。小さな目標かも知れませんが、スモールステップで、少しずつ学級がよくなってくればいいと焦らずにいいことと思います。自分の至らなさを知る毎日ですが、めげずにながらばいいことと思えます。

また、函館市は夕陽会の諸先輩方も多く居り、恵まれた環境の中で教員としての資質や能力を磨くことができます。状況にあります。ただ、その環境に甘えることなく、自ら学ぶことを忘れず努力していいことと思います。今後ともご指導よろしく願います。

(函館市立亀田小学校)

吉田 雄太

また、函館市は夕陽会の諸先輩方も多く居り、恵まれた環境の中で教員としての資質や能力を磨くことができます。状況にあります。ただ、その環境に甘えることなく、自ら学ぶことを忘れず努力していいことと思います。今後ともご指導よろしく願います。

(函館市立亀田小学校)

新会員になって

三度目の正直で教員採用試験を突破し、この春から函館市立潮見中学校に勤務することになりました。新しい環境の中、伝統ある吹奏楽部の指導や、学校での仕事に追われ、あっという間に一学期が終わってしまいました。

この四ヶ月間は、毎日が失敗と反省の連続で、弱気になる事もありましたが、諸先輩方の温かいご指導や子ども達に支えられ、何とか頑張ることができました。

教員という仕事は、子どもの人格形成に直接かかわる責任ある仕事で

少しずつ…



小野寺 徹

自分自身を成長させていくには十分すぎるくらい恵まれた環境の中で、多くの人に助けられ、支えられながら、私自身も日々精進し、

二学期以降少しずつでも生徒や周りの人の力になれるよう頑張りたいと思っています。これからも、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いたします。

(函館市立潮見中学校)

とにかく精一杯



黒川 達朗

今年の三月まで学生だった自分が、四月になって突然、多くの人に「先生」と呼ばれるようになりました。教師という仕事に就いて四ヶ月、先生と呼ばれることにもだいぶ慣れ、少しずつ視野も広がってきたように思えます。しかし、この四ヶ月間、私は失敗と反省を繰り返しながら過ごしてきました。

とにかく何もかもがわからない事なので、毎日のように周りの先生方に聞き、自分なりに精一杯頑張っているつもりです。しかし、要領が悪いせいか、いつも周りに迷惑

をかけてばかりいます。それでも、周りの先生方や保護者の方々にも温かく励まされ、支えられ、何とか今まで落ち込まずにやってこられました。

亀尾の生徒は素直な子ばかりで、本当に楽しい学校生活を送っております。亀尾の事に関しては、私よりも生徒の方がよく知っているので、生徒から学ぶこともしばしばです。また、亀尾は小中学校なので、中学校と同時に小学校の教育活動も見ることが出来ます。これは、これからの私にとって大きな財産になると思います。

教師一年目の私にとって、亀尾小中学校は最高の環境といって良いでしょう。そのような環境の中で、とにかく精一杯、失敗を恐れず、できるだけ周りの方々に迷惑をかけないように「学校の先生」をやりたいと思います。

(函館市立亀尾小中学校)

平成15年度 支部 運営方針

母校開学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」の精神を確かめ、支部会員の資質高揚と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。
合わせて夕陽会の充実発展に寄与する。

一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

二、幹事、若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

五、広報活動の充実を図る。

支部役員・業務内容

一、支部役員

役職	氏名	卒業年次	所属
支部長	小山内武弘	42年卒	函館市立的場中学校長
副支部長	伊藤 皓嗣	44年卒	函館市立吉が丘小学校長
監査	青木 完二	54年卒	教育委員会指導室長
幹事長	真崎不二彦	28年卒	函館護国神社宮司
副幹事長	阿部 憲司	51年卒	函館市立湯川小学校教頭
	熊谷 光洋	50年卒	函館市立港中学校教頭
	田野中 敏	49年卒	函館市立的場中学校教頭
	長谷川 秀雄	62年卒	函館市立的場中学校教諭
	林 潤子	52年卒	函館市立亀尾中学校教頭

二、主な業務内容

氏名	卒業年次
元支部長 山尾 正	23年卒
元支部長 高井 信行	30年卒
元支部長 川島 孝夫	31年卒
元支部長 藤谷 利春	32年卒
元支部長 板東 忠康	33年卒
元支部長 池上 信廣	37年卒
元支部長 齊藤 正宏	39年卒
前支部長 寺岡 昭治	42年卒
前支部長 坂口 一弘	41年卒
現校長 長谷川 良任	41年卒
現校長 中学校	41年卒

- 一、支部総会
- 二、受賞祝賀会
- 三、支部会報の発行
- 四、新入会員激励会
- 五、役員会、学校幹事会
- 六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)
- 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
- 八、特別業務
 - ・結婚会員へのご祝儀・祝電
 - ・逝去会員への供花・弔電
 - ・受賞会員昇任会員への祝電

平成14年度 決算

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
会費	1,240,000	1,214,000	Δ 26,000	現職会員 866名 現職外会員 48名 前納会員 640名
繰越金	649,457	649,457	0	
繰入金	100,000	100,000	0	前納会計
雑収入	543	17	Δ526	預金利息
合計	1,990,000	1,963,474	Δ26,526	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
事務費	420,000	382,894	Δ37,106	封筒印刷、送料、用品
事業費	600,000	590,471	Δ9,529	会報、幹事会
会議費	400,000	286,225	Δ113,775	総会、役員会
慶弔費	450,000	211,430	Δ238,570	祝電、弔電、供花
振替手数料	35,000	19,380	Δ15,620	
雑費	40,000	0	Δ40,000	
予備費	45,000	0	Δ45,000	
合計	1,990,000	1,490,400	Δ499,600	

3. 前納会計決算書

収入		支出	
前年度残高	2,434,549	通常会計繰入金	100,000
平成13年度納入額	280,000	前納会員会費繰入金	300,000
利息	16	その他	0
合計	2,714,565	合計	400,000

収支合計 (収入)1,963,474-(支出)1,490,400=(残高)473,074円

平成15年度 予算案

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(Δ)	備考
会費	1,214,000	1,190,000	Δ 24,000	現職会員 840名 現職外会員 50名 前納会員 670名
繰越金	649,457	473,074	Δ176,383	
繰入金	100,000	100,000	0	前納会計
雑収入	17	26	9	預金利息
合計	1,963,474	1,763,100	Δ200,374	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(Δ)	備考
事務費	382,894	420,000	37,106	封筒印刷、送料、用品
事業費	590,471	620,000	29,529	会報、幹事会
会議費	286,225	330,000	43,775	総会、役員会
慶弔費	211,430	300,000	88,570	祝電、弔電、供花
振替手数料	19,380	35,000	15,620	
雑費	0	40,000	40,000	
予備費	0	18,100	18,100	
合計	1,490,400	1,763,100	272,700	

3. 現職外前納会計

合計 残高	2,314,565
郵便局定額貯金証書	428,000
普通預金通帳記載定額貯金	1,500,000
普通預金通帳記	386,565

転入会員

・三津橋	・池野	・森脇	・戸高	・加賀	・若狭	・佐藤	・佐々木	・佐々木	・福永	・田中	・瀧本	・山田	・田湯	・高村	・石崎	・小山内	・菅原	・高橋
ゆかり	浩	あすか	裕子	亨	美也子	雅士	壮一	章吾	英丈	順子	本文	肇	義浩	幸子	正子	保	恵美	久美子
(附)	(北)	(北)	(亀)	(桔)	(深)	(深)	(的)	(神)	(昭)	(中)	(亀)	(北)	(日)	(駒)	(駒)	(金)	(柏)	(あ)
属)	中)	中)	中)	中)	中)	中)	中)	小)	小)	小)	小)	小)	小)	小)	小)	小)	小)	小)



新採用会員

・腰岡	・森谷	・平田	・黒川	・菊地	・小野寺	・真田	・紺田	・目黒	・吉田	・瀧谷	・小又
千絵子	剛	裕司	達朗	博之	徹	武知	智和	範和	雄太	奈津乃	祐子
(北)	(桐)	(亀)	(亀)	(戸)	(潮)	(本)	(東)	(中)	(亀)	(千)	(青)
中)	中)	中)	中)	中)	中)	小)	小)	小)	小)	代)	柳)

各学校幹事

柏野小	千代田小	中島小	千代ヶ岱小	高盛小	港小	万年橋小	八幡小	北星小	中部小	あさひ小	青柳小	弥生小	西小	学
高橋	久保杉	小仲	山岸	笹原	三品	紺野	田中	後藤	大塚	佐藤	小又	藤尾	斉藤	校
絵理子	由佳	剛	一徳	史裕	克典	直哉	博子	早苗	健	祐子	玲子	貴実	幹	幹
														事
18	7	8	11	10	17	5	15	5	5	12	12	9	6	員
														数

五稜中	凌雲中	宇賀の浦中	潮見中	西中	附属函館小	南本通小	本通小	東山小	神山小	鍛神小	北美原小	中央小	赤川小	亀田小	昭和	北昭	中の	桔梗	石崎	東小	鱒川	亀尾	旭岡	上湯	高丘	湯川	北日	日吉が丘	深堀	駒場	金堀
木村	黒田	川村	小野寺	薄井	榎山	中村	真田	紺田	伊多波	田中	小林	高井	山田	坂本	新榮	小又	花田	村上	佐藤	和久井	佐藤	工藤	島村	一戸	佐々木	石岡	山田	田湯	一戸	高村	白戸
麻岐	永輔	秀晴	惠徹	子聡	昌照	武知	智涉	紀子	朋子	朋子	久美	俊美	久美	久美	克俊	洋子	久美	兼人	貴徹	貴子	廣賢	昭梢	昭広	寿勝	善貴	敬悟	肇	義浩	久美子	幸子	礼美子
10	11	4	10	8	15	12	17	14	17	18	20	20	11	15	17	13	10	13	5	11	9	9	13	13	15	22	14	14	14	16	15

支部事務局組織(的場中)

附属養護	附属幼	万年橋幼	市教委	附属中	北中	本通中	桐花中	亀田中	桔梗中	赤川中	銭亀沢中	旭岡中	戸倉中	湯川中	深堀中	的場中	光成中	港中	大川中
吉成透	中村誠司	戸澤裕美枝	鳴海康司	辰巳哲治	山口詠子	後藤昌樹	森谷大輔	紺野大輔	濱谷操	鍵谷誠	鈴木浩央	村井雄一	立中大輔	船越健治	桜井純	木代堅巳	杉山裕規	石亀美智子	川村英明
25	4	1	10	15	16	23	17	20	8	14	6	8	18	14	15	15	6	12	14

分掌	氏名
総務部	○田野中敏・長谷川秀雄
庶務部	○武田寛・木代堅巳 安濃万知子・子原恵美 土橋裕二・鈴木健二 小林紋子・山川友洋
広報部	○野村真紀子・蛭子友正 塚田美穂子
会計部	○佐々木壮一・小野寺淳

夕陽会函館市支部規約

(五)幹事 若干名
(六)監査委員 三名

第八条 この会の会議は、次のように定める。

事務局だより

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と称する。(夕陽会函館市支部と略称する)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ると共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

- 一、総会
- 二、親睦会
- 三、会員の慶弔に関すること
- 四、支部会報の発行
- 五、教育研究諸会合
- 六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在任する次の各号に該当するものをもって会員とする。

- 一、北海道函館師範学校卒業生
- 二、北海道第二師範学校卒業生
- 三、北海道学芸大学函館分校卒業生及び修了生
- 四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生
- 五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生
- 六、母校に在学した者(講習科、養成所も含む)

第六条 この会の役員は次のように定める。

- 一、役員
- (一)支部長 一名
- (二)副支部長 二名
- (三)幹事長 一名
- (四)副幹事長 若干名

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

- 一、顧問は、この会の重要な事項に關し支部長の諮問に応じる。
- 二、顧問は、支部長が委嘱する。

第八条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

- 一、定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。
- 二、臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

第九条 この会の収入は、次の通りとする。

- 一、会費
- 二、寄附金
- 三、事業による収益金
- 四、その他

第十条 この会の支出は、次の通りとする。

- 一、会議その他事業費一般
- 二、懇親会その他会合費
- 三、慶弔費
- (一)会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電
- (二)会員の受賞、栄進等は祝電
- (三)会員の死亡は供花と弔電
- (四)その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

第十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

函館支部会報第六十四号が出来上がりましたので、お届けします。本会報の発刊に際しましては、ご多用にもかかわらず昇任・新会員の方から写真とともに熱意のこもった素晴らしい原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。

去る五月二十八日、ホテルロイヤル柏木にて、ご来賓として安島会長・藤川幹事長代理(現幹事長)のご臨席をいただき、「幹事会」及び「新会員・幹事懇親会」を開催しました。若々しい新会員を囲み、幹事の方々の和やかな歓談の中で、山尾正顧問・川島孝夫顧問からの励ましや示唆に富んだお言葉をいただき、同窓の絆を一層確かめ合ったところです。

学校幹事の皆様、六月十四日の函館での本部総会・大懇親会へ向けての出席等の取りまとめ、ご協力ありがとうございました。

会員の方に慶弔がありましたら、事務局(的場中学校) 田野中または、長谷川まで早めにご一報ください。

支部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。

041-0021 函館市の場町十二番七号

函館市立的場中学校

電話番号(〇一三八)五二一五二〇八

FAX番号(〇一三八)五二一五一〇九

平成十三年四月二十一日改正